

## 会員の皆さま

現在の社会情勢に鑑み、残念ながら 2020 年度の大会は開催を見送ります。

2020 年 4 月 7 日

全国地方教育史学会 会長 吉川卓治

### 【事務局からの重要なお知らせ】

#### 標記の通り、2020 年度は大会開催を見送ります

既報の通り、海外在住会員はいない当学会でも、3月初めよりメールによる常任幹事会を恒常的に開催し、会長を中心に鋭意検討を続けて参りましたが、5月段階では大会を安全に開催することはできないという結論に至りました。

この間、大会開催に向けて、大学との交渉や教室入れ替えなどに種々ご尽力いただいた大会校の軽部勝一郎会員、シンポジストとして打ち合わせや原稿執筆にお時間をいただいた鳥居和代氏・大多和雅絵氏ならびに久保田英助会員には、常任幹事会より心からの感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染症が終息し、再び大会を開催できるようになった時、またご縁がありましたら、是非改めてご協力賜りたいと思います。

#### 2021 年度の大会については未定です

世界的に新型コロナウイルス感染症が下火になったと称しているのは中国のみです。もしも梅雨時に終息しなければかつての「スペイン風邪」のように複数年にわたって流行が続く可能性さえあると言われる日本の現状を見れば、次の大会の開催時期は軽々に設定できません。しかし、春に当学会、秋に教育史学会というサイクルで研究活動が続いている会員が多いことを考慮すれば、自ずと次は 2021 年春、それも不可能なら 2022 年春、ということになるかと思われまます。

また、開催時期が確定しない以上、例年、1 年前に発表する次期大会校についても保留にせざるを得ません。詳細が決まりましたら、改めてお伝えします。

#### 交通機関・宿舎のキャンセルについて

既に大会に向けて交通機関・宿舎を確保されていた会員は、これから速やかにキャンセルされることと思います。ただし、宿舎はそれでいいのですが、航空機についてはあと数日～数週間はお待ちになった方が有利だと思われます。と申しますのは、現在、国内の航空各社はおおむね4月末までのキャンセル・変更は手数料無料（「早割」「超割」「特割」など変更不可の区分を含む）となっていますが、これまでの経緯と現状を考えれば、もう少しで5月分についても同様の措置がとられるのは確実だからです。ご存じの方が多くはと思いますが、一応、念のためお知らせします。

## 『地方教育史研究』への投稿について

既報の通り、今年度も『地方教育史研究』は発行します。投稿資格は、「今年度の発表を申し込まれた会員」と「昨年度に発表を済まされた会員」とします。ㄨ切等については、有資格者全員に別途通知しますので、通常通りに準備をお進めください。

## 郵送による総会の開催について

これも既報の通りですが、次回総会は会長・幹事の交替という重要な議案がありますので、議案書を送付してご意見・ご質問はe-mail・郵送等にてお寄せいただく形で5月中に別途開催を予定しております。準備が整い次第、発送しますのでお待ちください。

## 最後に会員の皆さまのご健康をお祈りします

改めて申し上げるまでもありませんが、会員の多くは若者たちの指導で禄を食む中高年です。罹患しても無症状で終わることさえある彼らと違い、40代以降の死亡率は幾何級数的に増大することが明らかになっております。どうぞこれまでの人生になかったほどのご自愛にお努めください。

一方、若い会員の皆さまは、資料調査や聞き取りがままならず歯がゆい思いをしておられるかも知れません。これも申し上げるまでもないことですが、論文執筆のための資料調査は皆さまの人生にとって必要にして至急のことです。うまく日程の折り合いをつけ、マスク着用の上、胸を張ってお出かけになるといいと思います。

そして、終息後に開催される時期大会で、一件の良くない知らせもなく過ぎたことを喜び合い、その間の苦労や失敗を笑い話として語り合えることを、お互い心待ちにしましょう。その日まで、皆さま、どうぞお元気で。

---

### 全国地方教育史学会 事務局

〒002-8502

札幌市北区あいの里5条3丁目1-5 北海道教育大学 三上敦史研究室内

TEL/FAX 011-778-0380

e-mail [mikami.atsushi@s.hokkyodai.ac.jp](mailto:mikami.atsushi@s.hokkyodai.ac.jp)

学会ホームページ (2020年4月1日より変更) <http://w3.waseda.jp/assoc-zekyoiku/>

---